

令和5年
第104号

大鉄協

9月20日
発行ホームページでも
ご覧いただけます大阪鉄螺卸商協同組合
<http://www.daibyokyo.com>

「虹色の架け橋」 岩崎 晓生

- ◇和田理事長挨拶 2
- ◇第53回通常総会 2~3
- ◇組合だより 3~4
- ◇委員会だより 4~6
- ◇支部だより 6~8
- ◇随想投稿欄 9~12
- （本田眞裕美、足立大明、中上真一）
（武田等、久保博）
- ◇OS会の頁 12~13
(落海尚一郎、藤田優治、村井正大)
- ◇第47回ボウリング大会 14
- ◇第34回FEセミナースタンダードコース 14~15

目次

- ◇日本ねじ商連 第48期通常総会 15~16
- ◇2024年版ファスナーカレンダー 16
ねじ手帳 ビジネスダイアリー発刊
- ◇趣味のページ 17~19
- ◇事業者向け太陽光発電の共同調達支援事業 20
- ◇第72回野球大会 21
- ◇[シリーズ] 私の宝物 (隅田貴昭) 22
- ◇表紙のことば (岩崎暁生) 22
- ◇今後の主な年間スケジュール 23
- ◇編集後記 23
- ◇協賛広告 24

組合への感謝

理事長 和田 正



大阪鉄螺卸商協同組合の理事長を仰せつかっております和田でございます。組合員の皆様には平素より組合運営に多大なるご理解ご協力を頂き誠に有難うございます。理事を代表し心より御礼申し上げます。

さて、あまりにも長かったコロナ禍もようやく世界もアフターコロナと言える状況となっていました。しかしながら、コロナ禍が過ぎてもすぐさま以前の様な景況となるには暫くの期間を要しそうです。

未だ収束の兆しが見えないロシアとウクライナの紛争、更には異常気象による穀物等の供給不足、また年々過去に類を見ない大規模な災害被害も発生し我々の生活環境は少なからず備えを考える必要があると感じております。日々身近なところでは物価の高騰による家計へのダメージが大きくなっています。食料品、光熱費、燃料代等直接生活に関わるライフラインとも言える物が相次いで値上がりしています。

書いている内に段々暗くなってきましたので本来の自分を取り戻し、コロナ禍をやり過ごし

た「明けない夜は無い」の精神で明るく笑って物価が下がるのを待とうと思います。

さて組合の話しをさせて頂きますが、各支部長の皆様、各委員長の皆様をはじめその支部・委員会幹部の皆様には感謝に堪えません。理事会において各活動報告や活動予定をお聞きするたびに、皆様の行事打合せ準備、当日の運営等々のご努力を思い浮かべながら頭が下がる思いであります。大鉄協は素晴らしい団体であり、それを支えて下さっている皆様に心から御礼申し上げます。有難うございます。

また理事長2期目も私を見捨てる事無く大山副理事長、梅田副理事長、由良副理事長、そして中上専務理事の皆さんのが揃って留任頂けた事に心強く思っており深く感謝いたします。事務局にも他の加盟団体や各案件の調整に助けられました。これから2年は今迄以上に組合の為、ねじ業界の為に微力でありますが精進し、三役と共に益々活気あるものとしてまいりますので組合員の皆様、ご支援ご協力の程宜しくお願い致します。

最後になりましたが、全組合員の皆様のお会社の益々のご繁栄と社員の皆様ご家族の皆様のご健康とご多幸を心より祈念致しまして就任の挨拶とさせて頂きます。

和田理事長が続投

第53回通常総会 新体制を決定

当組合は、5月26日に大阪市中央区のシティプラザ大阪において第53回通常総会を開催しました。当日は組合企業の60社が出席(委任状提出37社)され、全10議案について審議を行いました。また53期の総会では2年に一度実施される役員改選が行われ、現職の和田理事長をはじめ副理事長である梅田真吾氏(株)梅田精密)、大山寛之氏(株)オオヤマ)、由良泰雅氏(由良産商(株))及び専務理事の中上真一氏(弘陽工業(株))を再任させる人事を決定致しました。

総会では初めに組合関係物故者の冥福を祈

り黙祷が捧げられたのち、和田理事長が挨拶に立ち「昨年から今年にかけ徐々に運営を再開させることができている。これも三役をはじめ組合に携わる皆様のおかげだ」旨話し、関係者に感謝を述べま



した。また和田理事長は続けて「新型コロナ

が5類感染症へ分類されたこともあり、今後はより活発に活動を行えるものと期待したい」と話し、今後の活動再開に期待を示しました。この後組合事業協力者への表彰が行われたのち村井耕太郎氏（株）村井製作所を議長に選出した上で審議に移りました。

総会では前期の事業報告及び来期事業計画など全10議案について審議を行い、いずれも原案通り承認しました。このうち定款の変更については当組合事務所所在地であるビルの所有者が変更されたことを受けて事務所所在地の表記を変更する内容となっております。また役員選任については議長の指名推薦方式により選考人が指名され、選考委員会による協議の結果理事26名・監事2名の候補が選出され出席者による賛同を経て全員を当選と致しました。続けて別室にて23年度第1回定期理事会が行われ、三



総会の様子

役及び各委員長、参与の委嘱について検討を行い新役員体制を決めました。

理事会の結果再任が決まった和田理事長は新理事長選出後に改めて挨拶に立ち

「ねじ業界の知名度向上と組合員数の増加を図るべく、この2年間精一杯頑張っていきたい」旨力強く述べ、続投に意欲を示しました。

総会後には大阪府商工労働部、大阪市経済戦略局をはじめ各方面からの来賓を交えた懇親パーティーが開かれ、小林三洋相談役理事（第一ボールト株）の乾杯挨拶で開宴となり、由良泰雅新副理事長による大阪締めをもって盛況裡に散会となりました。



大阪鉄螺卸商協同組合 第53回通常総会・議案

- ①2022年度事業報告、②2022年度収支決算、
- ③2022年度剰余金処分案、④2023年度経費の賦課する額ならびに徴収の時期およびその方法、⑤組合借入金残高の最高限度額について、
- ⑥2023年度事業計画、⑦2023年度収支予算、
- ⑧定款の一部変更について、⑨理事及び監事の選任について、⑩その他



乾杯挨拶
(小林三洋相談役・理事)

組合だより

◇新社長就任

○九条支部所属

- ・株式会社オーワハガネ工業
代表取締役社長 榎原 永二郎 氏
(2023年2月就任)

○西部支部所属

- ・株式会社丸エム製作所
代表取締役社長 石本 謙一 氏
(2023年5月就任)

○中央支部所属

- ・株式会社ナニワネジ
代表取締役社長 石原 延泰 氏
(2023年6月就任)

○中央支部所属

- ・株式会社テクノアソシエ
代表取締役社長 長野 友明 氏
(2023年6月就任)

◇表彰

おめでとうございます。

○憲法記念日知事表彰

- ・増谷ボルト株式会社
代表取締役 増谷 彰彦 氏
(2023年5月)

◇移転

○中央支部所属

- ・株式会社ナニワネジ
新住所 〒542-0073
大阪市中央区日本橋1-2-1 幸伸ビル3階
電話 06-6556-7281 (変更)
FAX 06-6226-8384 (変更)
(2023年6月26日より)



○西部支部所属

- ・アジアプランニング株式会社
新住所 〒550-0003
大阪市西区京町堀2丁目5-16
うつばGIZAビル6階
電話 06-6443-3097 (変更なし)
FAX 06-6443-3098 (変更なし)
(2023年7月3日より)

◇訃報

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご報告致します。

○本田支部所属

- ・株式会社野島製作所
取締役会長 野島 一氏
(2023年3月16日ご逝去)

○西部支部所属

- ・株式会社サンワ・アイ
取締役会長 熊田 常磐 氏
(2023年6月14日ご逝去)

委員会だより

ウィズコロナ元年

総務委員長 小西 弘美

秋近し A.R.Eが正夢になる日も間近
平素より総務委員会活動にご協力いただき
ありがとうございます。大鉄協が発行される頃
に文面が的中していれば問題がないのですが、
外れていた時は不自然な前文になりますので、
その時は申し訳ございません。

さて総務委員会としましては12月の忘年会
迄全員が参加する行事がございませんので、総
務委員会の方々の親睦を深める為に、食事を
計画したいと考えております。(一部会費の負
担をお願いして頂く事となります)その節は奮
ってご参加をお願いいたします。新型コロナ
の5類感染症への移行に伴い軽視されがちです
が、感染予防には気を抜かず気を付けて行動す
るようにしましょう。発刊日の頃は酷暑の疲れ
が出てくる頃ですので委員会の皆さんにおい
てはくれぐれもご自愛ください。

進取果敢に

経営委員長 宮川 勝

猛暑ならぬ酷暑お見舞い申し上げます。
今年度も引き続き経営委員長を務めさせて
頂きますミヤガワ金属販売株式会社の宮川と申
します。

平素は経営委員会の活動に対しご理解を示
して頂き誠にありがとうございます。昨年はコロ
ナ禍の中思ったような組合行事が出来ず非常に
残念でありました。

今年はコロナ禍が終わり、新たな幕開けとな
ります。また完全収束した訳では無いのは承知
の上、慎重な対応をもって組合活動を運営して
いく所存であります。

さて、今年の行事と致しまして、10月に工場
見学会を「日本製鉄 関西製鉄所様」に訪問させ
て頂き、鉄の作り方を学びます。鉄螺業界と非
常に縁が深い関係の工場で、初心者からベテラ
ンまでの参加者からの応募があり、基本に立ち

返り勉強して頂きたいと考えております。

続きまして、講演会を11月に企画しております。昨年出来なかったリモート同時配信、又アーカイブ等で組合ホームページに掲載等を考え、全組合員に見て頂ける様取り組んでおります。今回は鉄螺業界とは無縁ではありますが、有名格闘家の講師から「健康経営」をテーマにした講演をして頂く予定ですので、是非ともご参加願います。

最後になりますが、コロナが完全収束した訳ではありませんので、開催を延期または中止とする場合もありますのでご理解下さい。今後も経営委員会の活動に一層のご理解を賜り、当委員会の行事に奮ってご参加頂けますようお願い申し上げます。

満員御礼

労務委員長 大西 啓文

平素は労務委員会の活動へのご理解をいただき、また各種セミナーに多数のご参加を賜り誠にありがとうございます。

本年度も昨年に引き続き各種セミナーを開催いたします。現段階では7月にFEセミナースタンダードコースを2日間に渡り開催いたしました。20社38名の方に受講いただき、2日目のセミナー終了後には4年振りとなる懇親会も開催することができました。2日間の長丁場を終えて、受講者の和気藹々と交流を深める姿がありました。

以降の活動予定を報告いたします。

●FEセミナー図面の見方・描き方コース
9月7日(木)～8日(金) テクノセンター東大阪

●FE検定
11月15日(水) 鐵鋼会館
●FEセミナージュニアコース
11月17日(金) 鐵鋼会館
●FEセミナー加工体験コース
11月27日(月)・28日(火) ポリテクセンター
関西(2日間共に同じ内容)

労務委員に携わらせていただいて嬉しい瞬間があります。それは殆どのセミナーが締切前に定員に到達する瞬間です。組合員皆様の関心の高さと、各講師の方々のもっと分かりやすくしたい、もっと面白く伝えたいという努力と思いによって各セミナーが成り立っていると思います。

まだ一度も参加されていない組合員様には、是非ご活用いただけたらと思っています。今後も一人でも多くのご参加をお待ちしております。

各種事業へのご協力お願い

業務委員長 園田 徳郎

前期に引き続き本期業務委員長を務めさせていただきました園田鉄螺(株)の園田徳郎でございます。業務委員会も副委員長に井上金属工業(株)井上社長様にご就任をいただき新しい委員の皆様にご協力を頂戴し、二期目に入りました和田理事長のお役に立てる様努力していく所存でございますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

猛威を振るっていましたコロナウイルスもようやく下火になり、ついに分類が5月より季節性インフルエンザと同等の5類に移行されました。このことにより感染すると本人の5日間の自宅待機はありますが濃厚接触者の自宅待機はなくなり、より以前の日常が戻ってきたように思われます。組合活動も野球大会が4年ぶりに開催されますし、業務委員会も6月に委員の皆様にご出席をお願いする委員会を開催させていただきました。

さて、本年も出版事業でありますファスナーカレンダー・ねじ手帳・A5ビジネスダイアリーの販売を例年通り実施しておりますとともに本年は新商品として「ファスナーカレンダー卓上版」を新規発売することといたしました。この商品はファスナーカレンダーの要素を取り入れた卓上カレンダーで書き込みもしやすく机の上に置いておくとちょっと便利なカレンダーで各社様の販促品としてもってこいの商品だと思いますので組合員の皆様のご協力により販売数が伸びることを期待しております。

また、他の事業であります共同購買・カーリース・各種保険事業も引き続き取り扱いしておりますのでこちらの方もご協力賜ります様よろしくお願いいたします。

これからも組合財政に少しでも寄与できます様活動いたしますのでご支援、ご協力賜ります様重ねてお願い申し上げます。

3年ぶりと4年ぶり

福利厚生委員長 竹上 浩史

2023年2月5日、3年ぶりとなるボーリング大会を実施致しました。今年は大会会場を、ミナミのサンボウルに変え、新たな出発となりました。ただ、コロナ禍の影響もあってか、9チームの参加と、例年よりも少ない参加者でしたが、こぢんまりとした分、非常に和気藹々とした大会になりました。なお優勝は、大丸鉄螺製作所様でした。おめでとうございます。

また8月には、実に4年ぶりとなる野球大会が開催されます。この寄稿が掲載される頃には、結果もわかっていることでしょうが、今現在、開催に向けて頑張っております。2019年の前回大会をもって、長年使用させて頂いていました、神足球場が諸事情により使用出来なくなつた為、今大会より、府民スポーツ広場（みどりが丘）という、新しい場所での開催となりました。また、長年の課題でもありました、野球道具一式の保管場所問題を解決すべく、机や椅子などの備品等を、レンタルでまかなうことも、今大会より始めました。これにより、福利厚生委員の負担も、軽減されることが期待されます。新しい形での開催となる今大会、今年は災害級の猛暑が続い

ており、大会開催日も猛暑となるでしょう。しかし、「暑かったな、しんどかったな。でも、おもろかったな！」と言えるような大会を目指したいと思っております。

そんな器ではないのですが…

広報委員長 奥山 隆史

残暑お見舞い申し上げます。今年度より広報委員長を務めさせて頂きますエヌエスマタル株の奥山と申します。未熟者ですが何卒よろしくお願ひ申し上げます。平素は広報委員会の活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。この度も『大鉄協』104号が無事発刊出来ましたこと、厚く御礼申し上げます。

101号から新企画と致しまして「趣味のページ」を連載しております。組合企業従業員の皆様に興味を持って頂ければ有難いのですが、まだPR不足もあり浸透していない感じもしております。

この他にも広報委員会として色々な案を検討して、より皆様に興味を持って読んで頂ける機関紙にしていきたいと思っておりますので、今後とも皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

支部だより

一枚岩

東部支部長 堀内 龍夫

平素は東部支部活動に御協力を頂き誠に有難うございます。

新型コロナウイルスが5類になり人の動きもコロナ前に近づき、イベント、祭り、スポーツ観戦等とあらゆるものが以前と変わらない状況になってきました。当然、感染者は増加していると思わ

れますが、以前の様に危機感を持っている人は少ないのでしょうか？

さて本年度の支部活動ですが、5月11日に総会、7月28日に恒例の納涼会を開催いたしました。20社64名の参加予定でしたが、直前に社内で感染者が出ましたとの事で2社は辞退され60名程にはなりましたが、普段はできない各社の社員交流、オーナーとの交流もあちらこちらで和気あいあいの雰囲気の中行われ楽しい時間も、あ

つという間に過ぎ閉会となりました。開催前には参加人数はどうだろうか？以前の様な雰囲気でやれるだろうかと心配していましたが、各社長様のご理解とご協力のお陰をもちまして無事に終わる事ができ幹事一同感謝する次第です。また、9月29日～9月30日にかけて黒部ダム見学、三ヶ原温泉宿泊と懇親旅行を計画しております。多数のご参加をお願いします。東部支部は理事長副理事長がおられ、コロナに負けない、できないではなく、安心安全でできる方法を考えて進めるという方針ですので、これからも、幹事一同結束し、東部支部一枚岩をモットーに邁進してまいり所存ですので、支部の皆様のご支援を賜ります様お願いいたします。

西部支部新体制はじめました！

西部支部長 辻 宏二

残暑お見舞い申し上げます。

平素は、西部支部活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

先ず、本年6月にご逝去されました、西部支部員 (株)サンワ・アイ 取締役会長 熊田常盤様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

さて、西部支部は本年度より新体制となり、私大和鉛螺工業(株)辻が支部長を務めさせていただきます。副支部長には会計幹事を兼務して、太洋ねぢ(株)津崎護氏、幹事に大弘鉛螺(株)稻員洋氏の計3名のミニマルな体制ですが、皆様に満足して頂ける支部運営を心掛けてまいりますので、ご指導・ご協力の程お願い申し上げます。

本年度の支部活動としましては、活動メインである支部旅行は、諸事情を勘案した結果、残念ですが中止と決定しました。代替として、支部総会を9月に開催する予定です。また、6月に支部ゴルフコンペを開催し、9月には九条支部様・本田支部様合同開催の九伸会ゴルフコンペに参加させていただきます。そして、例年通り1月に新年会を開催する予定です。

西部支部としましては、新型コロナが5月に5類に移行し、徐々にコロナ禍以前の日常に戻りつつありますので来年度には支部旅行を開催出来ればと考えております。支部員皆様の意見も頂戴し、皆様が楽しく、気持ちよくご参加いただける様な企画ができればと思っています。

また、西部支部に参加いただくメンバーも少しずつ変化があり、年齢層も少しずつ若くなっています。小さな組織の小さな多様性ですが、個を活かしつつ、繁栄できる支部になっていける様努めますので、1期2年、よろしくお願ひいたします。

老体にムチ打ち！

中央支部長 尾崎 正洋

平素は支部活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。中央支部では今年4月28日大阪市中央区のアークホテル大阪心斎橋にて支部総会が開催されました。

この度、石江前支部長の後任として支部長に就任することになりました岡總株式会社の尾崎でございます。大鉛協では2期4年広報委員長を務めさせて頂きましたが、今年委員長を退任する事となり、ようやく無役になると安堵していた矢先の事でございました。本来であれば世代交代で私より若い方にお願いするべきところ、諸般の事情でお引受けする事となりました。引受けたからには『老体にムチ打ち』頑張って参りますので、よろしくお願ひ致します。我々中央支部は、会員数22社であり、70代を筆頭に30代から50代の二代目、三代目経営者若しくは経営幹部の方々が中心の支部ですので、世代間の違和感を調整しつつ運営して参りたいと考えております。今年最初の支部行事は、去る8月25日に『暑気払い懇親会』を大阪心斎橋の鹿児島豚専門店『華蓮』で開催し、同店の名物である『黒豚せいろ蒸し』を会員の皆さんに堪能して頂きました。

さて、コロナ感染も昨年後半から今年に入り

収束に向かい一つ有り、政府では今年5月に感染法上の位置づけを、『2類相当』から季節性インフルエンザと同じ『5類』に引き下げられました。その様な状況下で海外からの観光客が急激に増え、都市部を中心に全国の観光地はコロナ感染前の状況に戻りつつありました。しかし、直近のテレビ、新聞等の報道に寄れば、再度沖縄県を中心に感染者数が増えてきており、油断出来ない状況になっています。また、既にご存知の通り、今年10月から始まる『インボイス制度』、更に来年4月からは『物流の2024年問題』が施行されますが、我々流通商社にとっては予想される種々の問題に対応が求められ事となりそうです。従って、組合の一つの目的である会員企業間の情報交換が重要なポイントになると考えております。今後の支部活動については年末の忘年会、年明けの新年会、更に来春か来秋に懇親旅行など日ごろのストレス解消に繋がる企画を実施したいと考えております。

支部会員各位におかれましては、何卒ご理解をいただきご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

戻りつつある日常生活と支部活動

本田支部長 小川 正也

残暑お見舞い申し上げます。平素は支部活動に、ご理解ご協力頂き誠にありがとうございます。

今年は、4月に難波の肉割烹「吟」にて支部総会を開催しまして、ほぼ全員に近い会員の方々に出席して頂き、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

また、9月には2008年以来5年ぶりとなる博多方面への支部旅行を開催致します。今回の旅行は今までと少し趣を変えて、旅館でみんなと一緒にごろ寝するスタイルではなく、感染対策も考慮して、ホテルで1人部屋に各自が宿泊するスタイルにしました。昼間はみんなで一緒にわいわいやつて、夜は各自がプライベートも大切に出来

るような、そんな旅行になればと思っています。これも、既に多数の会員の方々より出席の返事を頂いておりまして、今から楽しみにしています。

この「支部だより」が掲載される事には、楽しい思い出と共に支部旅行も終わっている事でしょうが・・・。

旅行以降の支部の行事は、また、幹事で相談しながら決めて行くことになると思いますが、行事が決まった折には皆様のご参加をどうかよろしくお願ひいたします。

支部長就任ご挨拶?

九条支部長 山田 尚央

暦の上では「秋」。といっても、夏の続きのような日々がダラダラと続いていることでしょう。

コロナの影響もあり、2年遅れで支部長を引き継ぎさせていただきました。まだまだ不慣れなため、至らない点も多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

新型コロナ感染症の5類移行を受け、当支部でも5月に支部総会が無事に開催されました。今後、支部旅行等の行事も、順次再開してゆく予定です。

とはいえ巷では、各種活動の再開に伴う感染増加等も確認されております。自宅で備蓄してあった抗体検査キットも、いつのまにか底をつき、先日補充したところです。活動再開にあたっては、慎重な対応を念頭に置いて進めてゆければと思います。

個人的には、基礎疾患優先枠を獲得済みのため、通勤電車等では相変わらずのマスク着用、次のワクチン接種も予定アリ。加えて、帯状疱疹についても自治体より招待されており、まさにワクチン漬けの今日この頃。多人数よりも少人数の交流・宴席を優先せざるを得ない状況です。

そうは言っても、ここで立ち止まっていられませんので、各自、健康管理には十分気を配りつつも、一歩ずつ活動を再開してゆきましょう。

隨 想 投 稿 欄

海デビュー

(株)ホンダ鉄螺製作所
本田 真裕美

海なし県で幼少期を過ごした私にとって、泳ぐのはいつもプールか冷たい吉野の川でした。プールも川もとても綺麗で、夏が嫌いな私の唯一の楽しみでした。

結婚してから子供たちを連れて毎年琵琶湖に泳ぎに行くようになり、透明度には多少の不満を持ちながらもシジミ捕りやバーベキューを楽しんだり、ベタベタする塩辛い海には全く興味がありませんでした。

ところがある日、たまに家族旅行などで訪れたことのある三方五湖に娘と初めての一泊旅行を行った時のこと、宿の裏がすぐ湖で湖畔の宿だと思っていたら、見えなかったけれどすぐ前に海があったことを知り、二人でお散歩に出かけあまりにも美しい海を発見することに…そのまま泳いでみたりザブーンと海へ潜ると、竜宮城のごとくお魚たちが陽の光を浴びてキラキラ舞っているではありませんか！あの時の感動は今も脳裏に焼き付いて忘れることはできません。川や琵琶湖に比べ色とりどりの魚たち、ウミウシ、ヒトデ、貝やウニなど、そこは天国かと思えるほどたくさんの自然の恵みにあふれています。それ以来私と娘はすっかり海の虜となりました。

それからの私は大嫌いだった夏を心待ちにするようになり、娘と休みを合わせてはラッシュガードとシュノーケルを片手にあちこちの海にでかけることとなりました。それを見ていた主人が連れて行ってくれたのが石垣島でした。美しい珊瑚やかわいい熱帯魚たちとともに雄大なマンタやウミガメたちがお出迎え。白い砂浜に紺碧の空、近畿では味わうことのできない貴重な体験をたくさんさせてもらつてもう帰り

たくない何度も思いました。ですが、毎回楽しい時間はあつという間に過ぎ現実の世界にすぐに引き戻されてしまいます。

還暦を目の前に、あと何度海に行けるのか、もっと早く海に目覚めていれば、と残念に思うことしきり、日々の健康に感謝しつつ少しでも体力をつけようとスポーツクラブにも通うようになりました。

ようやく長かったコロナ禍も落ち着き元の生活に戻れそうな昨今、目下の私の目標はまた美しい海にダイブすること！時間の許す限り海の中で過ごせるよう健気に気を付けて年を取つていきたいと思います。

新たな趣味

(株)丸エム製作所
足立 大明

令和3年、新型コロナウイルス蔓延中に還暦を迎えた新たな趣味を持とうと審念熟慮の末にたどり着いたのが数年前よりブームとなっていた神社やお寺を参拝した証の“御朱印”収集でした。

御朱印は印章と神社・お寺の名称や神様・仏様のお名前など墨書きされたありがたいもので神仏のご縁の記録であることを念頭に置き、御朱印だけを貰いに行くのではなく、きちんとお参りすることを心がけ社寺とのご縁を深めた結果、御朱印を集めようと心掛け最初の参拝場所をおよそ2000年前より国民から総氏神のように崇められる天照大御神をお祀りされている伊勢神宮内宮に決め、スタートしました。

現在は32箇所を巡ることができ、最低でも月1箇所以上、古希までには全国の社寺200箇所を目標に参拝しようと行動中です。

高3の甲子園

弘陽工業(株)
中 上 真 一

私はPL学園出身(30年前に卒業)である。現在(8/10)甲子園で高校野球の真っ只中だが、高校野球でPL学園と言えば知らない人はいないのではないだろうか。アルプススタンドの人文字もそれなりに知られていると思うが、あの入文字は高校生だけでは人数が足らず、中学生も動員されていた。私も中学からPL学園に通っていたが、残念ながら吹奏楽部だったので入文字に加わったことはない。

中学1年の時は木戸(後に阪神タイガース)西田(後に広島カープ)で夏の大会優勝。中学2年の時は小早川(後に広島カープ)で春ベスト4。中学3年の時は甲子園出場できず。高校1年の時は西川(後に南海ホークス)吉村(後に読売ジャイアンツ)で春の大会優勝。高校2年の時、春の大会連覇(榎田という投手が阪急ブレーブスにドラフト1位指名されるが、プロではほぼ活躍できず)。そして高校3年の時は桑田・清原で夏の大会優勝だった。

改めて見ると中1~高3の6年間で春・夏合わせて12回中5回甲子園に出場し、その内4回母校の優勝を経験させてもらったので、非常に稀有であり、当時の野球部の諸先輩・後輩には感謝しかない。しかしながら、私の記憶では最後の夏の甲子園の1・2回戦は全く応援する気が無かったと覚えている。というのも、PLは8月1日に花火大会があるが、ゴルフ場で打ち上げており、営業するために学生は、その翌日にガラ拾いを早朝から行うのである。これは、甲子園に関係なく年間行事として行われるが、全寮制だったので夏休みで帰省していた生徒も花火のために一度帰寮させられる。甲子園に出場した場合は、そこから帰省せず応援のために寮に残って過ごすのである。従って1回戦で負けければ、即帰省できるのだ。そう言う理由で応援する気が無かった。というか、むしろ相手チームを応援していた。3回まで進むと勝った場合は夏休

みが10日間程延長されるので、3回戦の応援は、ありえないくらい必死だったし、勝った時は優勝以上に歓喜したのを覚えている。

結局、自分の都合を優先しているということなのだろうが、懸命に打ち込んでいる部員や、それを純粋に応援している人達には、今更だが申し訳なかったと思う。ちなみに、すぐ下の弟も同様にPL学園だが、彼は6年間で9回甲子園に行き、5回優勝2回準優勝なので、私と同様だったか私以上に申し訳ない感じだったかもしれない。

真夏のクリスマスリース

(株)三晃商店
武 田 等

クリスマスの飾り物っていつまで飾るものだろうか。早く片付ける人は12月25日?遅い人でも12月31日には片づけるのではないだろうか。クリスマスって、12月になるやいなや街全体が盛り上がるのに、過ぎた瞬間、すぐに終わってしまって、なんだか寂しい。我が家も、多分に漏れずクリスマスが終わるとクリスマスリースはそそくさとしまい、門松やしめ縄を飾つてお正月モードに切り替えるのが常だった。

しかし、ここ数年は年が明けても、桜が咲いても、年がら年中、飾っている。いまこれを書いているのは夏真っ盛り、真夏日やら熱中症やら世の中が騒いでいても、玄関にはクリスマスリースが飾られている。

年中、クリスマスリースを飾るようになったきっかけは何かというと、家内が昔からの趣味だった華道のつなぎりからクリスマスリース作りを始めたことだ。自作のリースは子供たちいわく「インスタ映え」だそうで、たしかに素人目にもなかなか立派な代物。そして、家内があんまり気に入っているものだから、しまうのももったいなくて年中飾るようになってしまった。

この季節違いのリースを見るたびに考えるこ

とがあるので今回の寄稿の話をいただいたときにテーマは「真夏のクリスマスリース」にしようと即決した。思うことの一つは、挑戦することに遅すぎることはない、ということ。この歳になって、はじめてリース作りに挑戦する家内に刺激されたのかどうかはわからないが、最近「ふるさと納税」をはじめてみた。手続きが面倒そうだし、なんだか騙されているのじゃないかと思ってなかなか踏み出せなかつたのだけど、ふと思い立ってはじめてみた。そうすると意外と簡単で拍子抜け。そして返礼品に、普段なかなか買わない高級チーズを選んでみたところ、これがたまらなくおいしくて、すっかりはまってしまった。ああ、やってみてよかったです。

もう一つは、常識にとらわれないということ。クリスマスリースはクリスマスのもの、という常識にとらわれがちだが、年中飾っていると意外となじむし、話の種にもなるものだと気がついた。好きなものは好きなように飾ればいいじゃないか。人様に迷惑をかけない範囲内で自由に生きることの大切さを毎朝このリースが教えてくれているような気がする。

「真夏のサンタクロース、どこにいる？ 心は寒い、クリスマス」なんて歌があるけど、真夏のクリスマスリースが玄関にいるおかげで、今日も一日頑張ろう、と思えるのだ。

ムエタイとキックボクシングは違うんです

(有)久保製作所
久 保 博

みなさん、ムエタイってご存じだと思われますが、あのキックボクシングみたいなものです。でも、ムエタイとキックボクシングは似ていますが、実は同じではありません。

どこが違うかと言いますと、キックボクシングはパンチとキックのみですが、ムエタイの場合は、相手の首をつかんで攻撃したり、相手を足

払いなどで転がしたりすることができます。更に肘で相手の顔や体を攻撃することもできます。ですから、ムエタイの方が少し危険なスポーツではないかという印象です。私、現在55歳ですが、何を血迷ったのか49歳のときに突然そのムエタイのジムに通いだしました。現在もジムに通って、せっせと汗をかいております。

なぜ、そんな50歳前になって、したこともない格闘技であるムエタイを始めたかと言いますと、6年前のある日、私の自宅のポストにムエタイジムのチラシが入っていました。そのチラシを見て、近所やから無料体験に一回行ってみようかと軽い気持ちで行ったのが、事の始まりです。そして、無料体験を経験して、「これくらいやつたら、私でもできるんちゃうかな」と思ったのが間違いでした(汗) 無料体験は、誰でもできると思わせるように楽しく軽めに体験させるのです。

見事にその罠にハマってしまいました。

そして、いざジムに通いだしますと、最初に準備運動で縄跳びから始めるのですが、その縄跳びがめちゃくちゃしんどいのです。まったく運動していない方は1分飛ぶのが精一杯です。そして、ムエタイですので、裸足で縄跳びを飛びます。それも太くて硬い縄です。

これが足に当たったときは、めちゃくちゃ痛いのです。特に冬場は最悪です。もう半泣き状態でやめたくなります。もう6年にもなるのに、いまだに縄跳びはキライです。

そして、それが終われば、サンドバッグでパンチやキックをします。このサンドバッグが、また痛い目にあうのです。まず、パンチですが、拳と手首をまっすぐに打ち込まないと手首をすぐ痛めてしまいます。そして膝や脛でサンドバッグを蹴るのですが、私は皮膚が薄いのかどうかわかりませんが、膝や脛の皮がむけたりして、血がにじんできます。

もう最初のうちは「俺、金払ってなんでこんな痛いことをしてるのか？」と思っていました。まあそれでも半年もすれば、だんだん体がなじんでくるのかわかりませんが、血ができるこも

なくなります。そして、コーチにミットを持ってもらって、リングでキックやパンチの練習をするのですが、これがまためちゃくちゃしんどいです。それも慣れてくると楽になるかなあと思っていると段々ペースを上げてきて、いつまでたっても楽になりません。このミット打ちをした

後は、もう倒れこんでしまいます。というようにこの大変しんどく痛いムエタイですが、最近、「あと何年できるのだろうか?」と考えてしまいます。まあでも、あと10年後の65歳まではなんとか続けたいと思う反面、あと10年もこんなとするのか?と思う今日この頃です。

OS会の頁

旅の思い出

中海鋼業(株)
落 海 尚一郎

私は大学卒業後、バックパッカーとして世界中を放浪していた経験があり、訪れた国は30ヶ国ほどになります。

一番良い国はどこだった?と聞いていただぐことが多いのですが、私が訪問した国それぞれに良いところがあり、いつも答えに悩んでしまいます。

その中で印象深かった思い出としてインドのある田舎町へ行ったときの出来事を紹介したいと思います。

すごく小さなその村では、外国人が来ることが珍しく、よく子供に話しかけられ、次第に村中の方とも交流を持つことになりました。散歩をするたびにそれぞれ家に招かれ、チャイ(各家庭で味が違い、すごくおいしい)をご馳走になり、互いが片言の英語でコミュニケーションを取り、遊んだりと楽しい日々を送っていました。

その村から去る予定の前日に、とある子供に呼び出され、行ってみると、「買って欲しいものがある」というのです。それまでその村に好印象を持っていた私は「最後の最後でこれかー」と裏切られた気持ちになり(観光客への押し売

りや詐欺のようなものなどはよくあったため)、一応何が欲しいのかと聞くと、「ついてきて」と手を引かれ連れていかれた場所は村に唯一の本屋でした。

なぜ本屋?と疑問に思っていると、参考書が欲しいというのです。値段にして500円ほどだったと記憶しています。本屋へたどり着くまでや、本屋でのやり取りの間に気付けば村の人には囲まれており、見守られています。訪問者である私が買い与えるべきではないと思い、そこに居合わせた方々との押し問答の末、結果、買い与えることになるのですが、その際の周りの拍手や喜んでくれた子の顔は忘れられません。

翌日、その村を去るときも多くの方に見送られ、最後にその子たちと駅でチャイを買い、最後に乾杯!となるのですが、そのチャイを一口飲んだ瞬間に、皆で「まずっ」と一緒に捨てて笑いあったことは、今でも忘れない思い出となっています。

この話は特に笑える要素もないのに、今まであまり話をしたことではありませんが私のバックパックの思い出としてはかなりの印象を残しています。この他にもいろんなジャンルの話がありますが書ききれませんので、ここまでにさせていただきます。また、ご興味あれば聞いてください。

成長を楽しむ2

太陽ファスナー(株)

藤田 優治

前回、隨筆を書かせていただいてから早2年。今回はOS会の頃ということで何を書こうかと考えたのですが、前回のその後を書かせていただこうと思います。

あれから2年経ち、我が子も4歳となりました。2年前は言葉もなかなか話せなかつたですが、今では流暢に喋ります。最近では保育園に通いだし、更に言葉を覚えて日々子供の成長に感動しています。ただ、保育園など家の外の世界に出るようになって、今まで我が子可愛さになかなか怒れていなかつたことを恥ずかしく思うことも増えました。食事の際もじつとできず立ち歩くなど、もっと子供の為に叱るべきだったと反省しています。

そんなこともあります、最近では叱るようにしているのですが、「優しくして」や「ぎゅってして」と甘えてきて、結局叱れなくなることも多々あります。。。子供が知恵をつけてきたことに成長の嬉しさを感じますが、どうしたものかと悩ましくもあり、子育ての難しさを痛感しております。

さて、当社に入社した新入社員ですが、こちらも日々成長をしてがんばってくれています。先日、久しぶりにゆっくり話す機会がありました。「仕事は楽しい?」と聞くと、「とても楽しい」と嬉しい返事がありました。ただ、最近悩んでいることもあるようで、話を聞いてみると、自分のなりたい姿と今の自分が置かれた環境が合わずに苦しんでいるということでした。詳しい内容は割愛させていただきますが、太陽ファスナーで働くということを真剣に考えてくれている内容でした。若手社員がここまで考えてくれているということに嬉しくなったと同時に、自身も成長し続け、こういった社員を引っ張っていける自力を付けていかなければと、身が引き締まる機会となりました。

私も33歳になりました。がむしゃらに前に向かって走っていればよかつた頃から、気付けば後ろから追いかけてくる人が増えました。

追い付かれないように走り続けるのはもちろんのこと、後ろを走る人にこっちだよと、正しい方向へ進めるように、OS会の尊敬する先輩方の背中を、これからも追いかけていきたいと思います。

私の基礎になっているもの

(株)村井製作所

村井 正大

寄稿のご依頼を頂き、何を書こうかと考えているこの時期は、夏の甲子園予選の真っただ中です。

この時期になると、嫌でも母校の結果が気になります。ついつい速報や結果を見てしまうのと同時に、当時のことを思い出し(恐怖の記憶とはなかなか消えないもので)よく耐えたなど未だに自分でも不思議に思います。

そんな中、3年間耳にタコができるとはこのことかと思えるほど監督から言われた言葉があります。

「目標と目的は違うんだ! 甲子園に出ることは目標であって、野球部の目的ではない!」

「甲子園に出たって社会に出たら何の意味もない。社会に出て通用する人間になれ。」

こんなにきれいな言葉で言わされたことはありませんが。。。当時甲子園に出たいという気持ちだけで親元を離れ、野球の為だけに時間が流れていると思っていた私たちには「?」でしたが、今になるとと言われていた意味がよくわかります。卒業してから何年かは思い出話にもなりますが、もう20年以上前の話では甲子園に出たから注文を頂けるわけもありません。

あの時、まったく意味を理解していない生徒に、この年になつても忘れないほど言い続けてくれた監督やコーチの根気には恐れ入ります。

「目標と目的」

「社会に出て通用する人間」

毎年この時期になるとよぎる言葉ですが、40歳を迎える小さな目的、達成できそうな目標を立ててみようと思います。

3年ぶりに実施 福利厚生委員会 第47回ボウリング大会

福利厚生委員会（竹上浩史委員長＝竹上鉄螺（株））は、2月5日に3年ぶりに第47回目となるボウリング大会を大阪市中央区の心斎橋サンボウルで開催しました。当日は組合企業より25名が参加。白熱したゲームに汗を流すと共にゲームを通じて互いに交流を図りました。

ゲーム前には竹上委員長より「3年ぶりの開催にも関わらず多くの方にご参加いただき感謝申し上げる。来年以降も継続していきたいと思っているため是非ご参加をお願いしたい」旨参加者に呼びかけた。また続けて担当役員である大山副理事長からは「ボウリングを通じて親睦をはかっていただければと思う」旨挨拶がありました。

ゲームは例年通り3ゲーム行われ、大丸鉄螺製作所Bチームがトータルスコア1307点（ハンデ含む）で見事優勝を飾りました。準優勝は同

社Cチーム（1278点）、3位は増谷ボルトチーム（1172点）でした。表彰式では入賞者のほかブービー賞の該当者に副賞やトロフィーが贈られ、午後0時過ぎに盛会裏に散会となりました。

男性の部、女性の部の入賞者及びハイゲームは下記の通りです（数字は3ゲームのトータルスコアでいずれもハンデ含む、敬称略）。

【男性の部】

優勝＝辻本憲吾（475点）、準優勝＝田村恭規（448点）、3位＝堀 英一（412点）、男性ハイゲーム＝辻本憲吾（179点）

【女性の部】

優勝＝福井絵里（441点）、準優勝＝田中沙織（418点）、3位＝松岡ゆかり（339点）、女性ハイゲーム＝福井絵里（176点）

☆皆様お疲れ様でした☆



挨拶する竹上委員長



優勝した大丸鉄螺製作所Bチーム

友清氏を講師に 労務委員会 第34回FEセミナースタンダードコース



講師の友清氏

当組合の労務委員会（大西啓文委員長＝大西鉄螺（株））は、7月6日・7日の2日間にかけて第34回FEセミナースタンダードコースを開講しました。

当日は組合企業20社38名が出席。（株）朝日押捻子製作所の友清繁氏（監修：同社取締役管理部長後藤達紀氏）を講師に招き、ねじの規格や材料、機械的性質など、「ジュニアセミナー」より一步踏み込んだ応用的な内容について講義を受けました。

初日に行われた開講式では大西委員長が挨拶に立ち、関係者に謝意を示すと共に「今回はコロ



挨拶する大西委員長

ナ禍で行えなかった懇親会も予定している。受講者同士交流の機会にしていただければと思う」旨話しました。また続けて和田理事長が挨拶に立ち「これからのはじ業界を背負って立つ方々がこのセミナーで更に知識を深め、仕事に役立てていただけることを期待している」旨挨拶し、受講者を激励しました。

この後金田哲治副委員長より注意事項の説明があったのち講義に移り、受講者は2日間にわたり「ねじの規格」「材料」「熱処理」「機械的性質」「表面処理」「品質管理」の各テーマについて講義を受けると共に演習問題に取り組みました。講師の友清氏は講義に入る前に「ねじ等の機械要素は一つでも欠けると生活が成り立たなくなると言われている。ねじ業界というのは誇りをもって働く産業だと思っている」と述べた上で「専

門的な言葉も一部出てくるかと思うがなるべく分かりやすく解説したい。緊張せず受講して欲しい」旨受講者に呼びかけました。

セミナー2日目の終わりにはセミナー会場近辺の「カフェ・ガーブ」で懇親会が開かれ、受講生は互いに懇親を深めました。なおこのスタンダードコースについては、内容の習熟度を測る「FE検定」が11月に予定されています。試験は同セミナーの受講内容が出題範囲となっており、検定合格者には「Fastener Engineer(ねじ技術者)」として大鉄協より認定証が発行される仕組みとなっています。またセミナー及び「FE検定」は第三者認証機関として知られる株式会社NQA-Japanが監修しております。



懇親会が行われた



新会長に馬場氏

日本ねじ商連 第48期通常総会を開催



馬場新会長

当組合が所属する日本ねじ商業協同組合連合会は、7月14日に大阪市北区のANAクラウンプラザホテル大阪において第48期通常総会を開催ました。総会では令

和4年度事業報告をはじめ全9議案について審議を行い、このうち任期満了に伴う役員改選では馬場美由紀氏（株馬場）を新会長とする人事を決めました。

総会は初めに総会担当組合である当組合の和田正理事長が挨拶に立ち「コロナ禍が明けて産業が動き始めたが、この動きに寄与できるよう4組合が力を合わせて産業を下支えすることで活気ある日本にしていきたい」旨述べました。また続けてねじ商連の藤田守彦会長が挨拶に立ち「資材高騰の話など（任期中の）2年

間は様々出来事があった。次の会長に引き継ぐと共にバックアップしていきたい」旨所感を述べた。

続けて神奈川県鉄螺協同組合の小杉哲博氏(㈱サガミパーツ)を議長に任命した上で審議に移り令和4年度事業報告や決算報告など全9議案について審議を行い、いずれも原案通り承認しました。第8号議案となった役員改選では選考及び理事会での協議の結果、馬場新会長や副会長4名をはじめとした新体制候補を決めました。

審議終了後には新会長候補となった馬場氏

より藤田前会長へ記念品が贈呈されました。また続けて馬場氏が挨拶に立ち、「半年が既に過ぎているが今年は『癸卯』で新たな扉を開けると発展するという年。ねじ商連の中で新たに取り入れていくべきところは取り入れ、皆様の社業、そしてねじ業界が発展するよう尽力していきたい」旨就任の抱負を述べました。

なお総会後には続けて懇親会が行われ、当組合の梅田真吾副理事長による乾杯発声により開宴となり、同じく当組合の中上真一専務理事による一丁締めで盛会裏に散会となりました。



業務委員会 ファスナーカレンダー 2024年 ねじ手帳 発刊 ビジネスダイアリー

業務委員会では今年も8月18日を予約注文締切として2024年版となる「ファスナーカレンダー」をはじめとした出版物の制作を進めています。なお、今年は毎年制作していた出版物3点に加えて新たに卓上型カレンダーを販売致します。各商品の概要は下記の通りです。

【「A5ノート版ビジネスダイアリー」2024年版】

サイズは縦210mm×横148mm、224頁（「ねじ一覧表」として写真付12頁。「ねじ重量表及びねじ規格表」（40頁）が付いています。表紙は高級ビニール装で、今年の表紙はファンタムグレーです（のし袋付）。

【「ねじ手帳」2024年版】

サイズは縦型（縦150mm×横9mm）。224頁（「ねじ一覧表」として写真付き12頁、「ねじ重量表及びねじ規格表」（40頁）が付いています。表紙は高級ビニール装で、今年の表紙は同じくファンタムグレー。赤・浅黄のリボンが2本付いています（のし袋付）。

【ファスナーカレンダー2024年版】

サイズはA2判3色刷・縦型・表紙付7頁。

掲載されているねじ類の写真は「ねじ一覧表」として利用できる内容となっています。

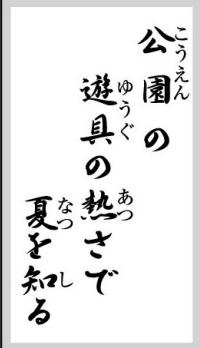
【新商品・卓上型ファスナーカレンダー2024年版】

サイズは縦150mm×横180mm、14枚。新商品は毎年好評な「ファスナーカレンダー」の卓上版で、表紙は大鉄協オリジナルのデザインとなっており書き込みし易い紙質に加えてメモスペースが広く取られているなど実用的な仕様となっています。



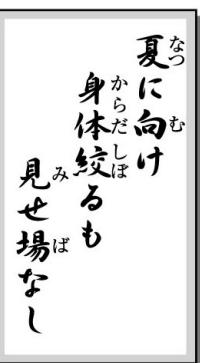
趣味のページ

前号に続き組合員・組合員企業の従業員様による俳句・川柳・写真・詩の作品をご紹介させていただく「趣味のページ」を掲載致します。今回の題材は「夏」です。

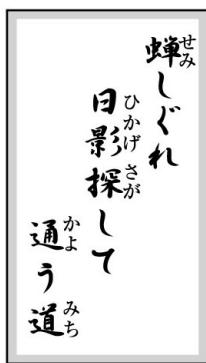


サンコーインダストリー(株)
坂本 達治 様

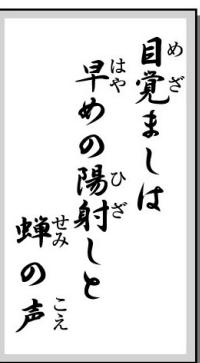
俳句の部



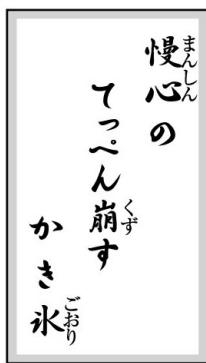
サンコーインダストリー(株)
指輪 健二 様



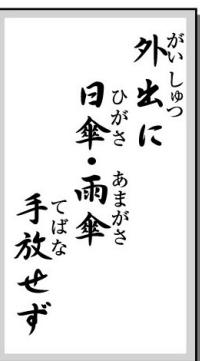
サンコーインダストリー(株)
横井 康二 様



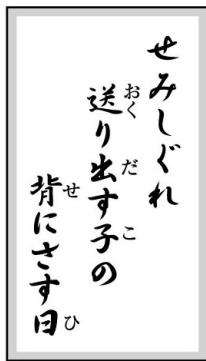
ペンネーム：
じやぶうち 様



大西鉄螺(株)
大西 陽子 様



ペンネーム：
オーバヤシ 様

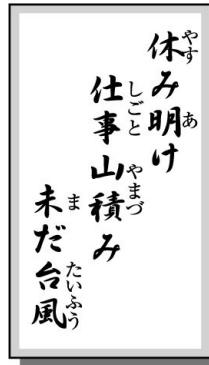


(株)カンタス
竹内 寛子 様



(株)コノエ
中田 憲児 様

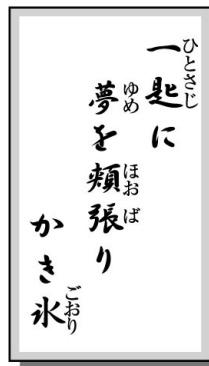
投稿者様コメント:
(夏の季語・昼寝)
週末昼寝から目覚めて、
だるいけど休日ならでは幸せを感じます。



ペンネーム：
オヨヨ 様

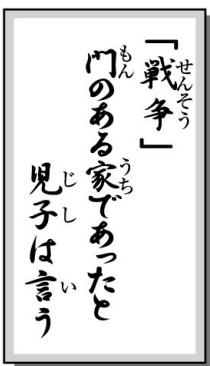


増谷ボルト(株)
西村 愛 様

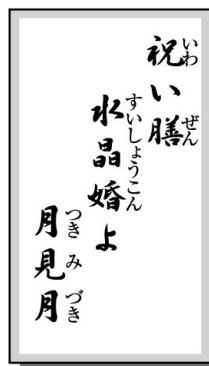


(株)マスター工業
木下 望 様

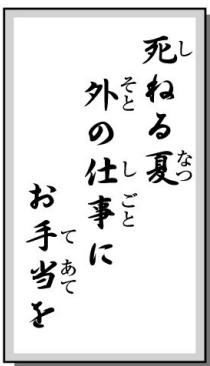
川柳の部



ペンネーム：
YOSHIKO 様



(株)カンタス
北川 博章 様



(株)コノエ
佐原 一行 様



写真の部

「夏のひまわり」
ペンネーム：鉄男でGO! 様



「無題」
(株)ヤハタ
山口 歩霧 様



「みなと祭り」
(株)三笠・鉄螺
河田 三起子 様



「暑い時は、冷やしトマトの
ハチミツレモン煮とビール！」
ペンネーム：ますピー 様

～沢山のご寄稿ありがとうございました～



事業者向け太陽光発電の共同調達支援事業

初期費用不要の太陽光発電を みんなでお得に導入しませんか？

募集期間

2023年 7.3 → 10.31

電気料金
高騰リスク
低減

共同購入による
一括発注で
利用料金低減

複数設置業者の
比較・検討が
可能

参加条件

※詳細条件は
WEBサイトをご覧ください

- 大阪府内に事業所を有する事業者
- 設置を希望する建物が1981年以降の新耐震基準を満たしていること
- 建物図面の提供が可能であること

参加登録から運転開始までの流れ

無料参加登録

2023年7月～10月末まで

提案・価格提示

2023年11月末まで

本申込

2023年12月末まで

着工・運転開始

2024年2月以降順次

注意事項

- 導入希望者と設置事業者との直接契約になります。
- 条件により、PPA・リースの提案ができないケースがあります。
- 提案・価格提示認後、条件に見合わない場合、キャンセルが可能です。
(本申込後は原則キャンセル不可)

詳細・お申込みはWEBサイトをご覧ください

<https://www.enerbank.co.jp/osaka-pref>



おおさか太陽光共同調達事務局

株式会社エナーバンク

TEL 03-6868-8614(受付時間/平日10:00-17:00)

Mail info-pref.osaka@enerbank.jp

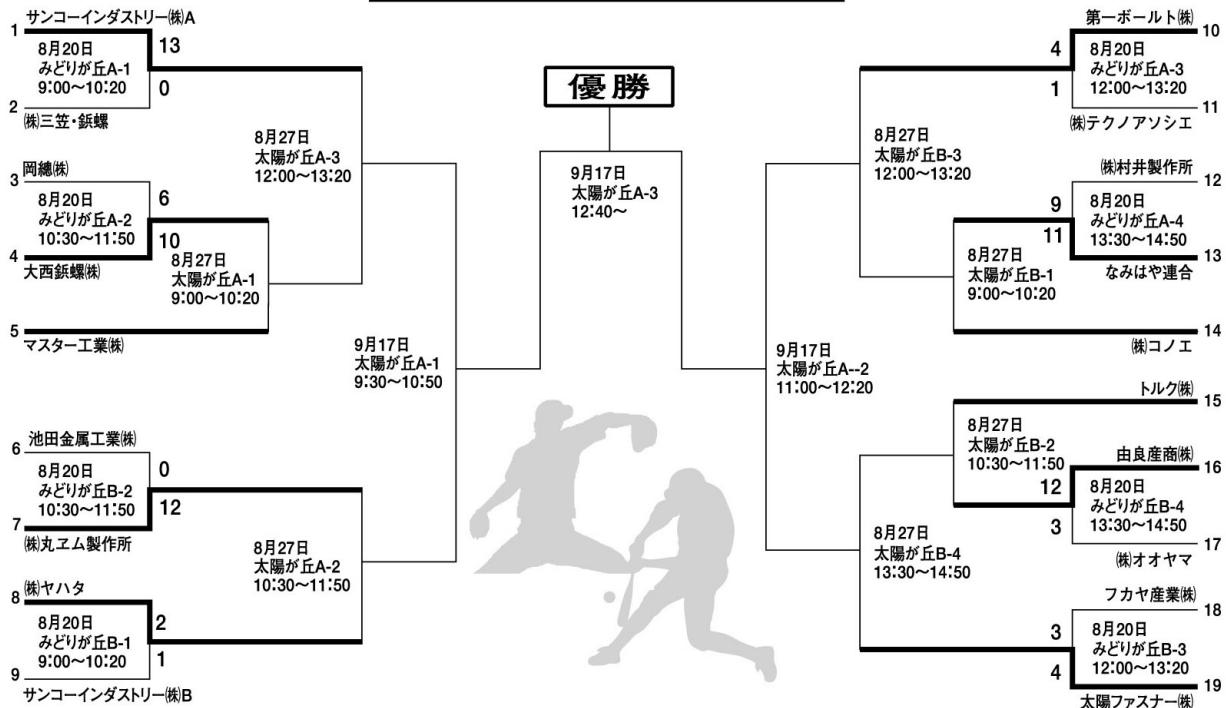
設置事業者連絡先

株式会社エナーバンク

Mail supplier@enerbank.jp

※設置事業者の募集期間:8月1日～9月30日

大鉄協 第72回野球大会



4年ぶりの開催

第72回野球大会 18チームで熱戦繰り広げる

福利厚生委員会(竹上浩史委員長)運営による野球大会が4年ぶりに開催されました。初日となった8月20日は今回初めての会場となる府民スポーツ広場(みどりが丘)において全8試合が行われ、出場チームはそれぞれ洗練されたプレーを繰り広げました。

当組合による野球大会は2019年に行われた第71回大会を最後にコロナ禍を受けて中止が続いていましたが、今年は実に4年ぶりに開催することができました。なお前回(第71回)大会の優勝チームは小林産業(株)(※現・トルク(株))で準優勝は由良産商(株)でした。

大会初日は例年通り午前9時から午後3時頃まで8試合が行われ、強豪チームが強さを見せつける力強い試合や両チームとも楽しみながらプレーをするほがらかな試合があるなど出場チームは皆思い思いにゲームを楽しみました。大会初日の結果は以下の通りです。

【大会初日試合結果】

▽A面(全4試合)

①サンコーラインダストリー(株)Aチーム 13-0 (株)三笠・鉄螺、②岡總(株) 6-10 大西鉄螺(株)、③第一ボールト(株) 4-1 (株)テクノアソシエ、④(株)村井製作所 9-11 なみはや連合(連合チーム)

※結果は大会初日終了時点のものです。

▽B面(全4試合)

- ①(株)ヤハタ 2-1 サンコーラインダストリー(株)Bチーム、②池田金属工業(株) 0-12 (株)丸エム製作所、③フカヤ産業(株) 3-4 太陽ファスナー(株)、④由良産商(株) 12-3 (株)オオヤマ

※大会決勝戦の様子は次号(『大鉄協』105号)

でお届け致します。



試合開始前に整列する選手達



今年も熱戦が繰り広げられた

シリーズ 私の宝物

「出会いこそ宝物」

(株)隅田鈿螺製作所

隅田貴昭

この度、エッセイ【私の宝物】に寄稿御推薦を頂きましたが、私は特にモノにこだわりがありません。ブランド品や高級製品が好きな訳でもありません。大事にしているものはありませんが、「宝物か?」といわれると思うでもないと思っていました。寄稿をお受けしたもののテーマをどうすべきかと悩んでおりました。

そこで自分のこれまでのねじ屋人生を思い返してみることにしました。すると今の自分がるのは、私と交流をしてくださっている業界の皆様のお陰だという事に気付きました。

この業界に入らせて頂いて気づけば15年目。最初は父である現会長について色々な方とご挨拶をしました。「えらい荒い紹介の仕方やなあ」と思った記憶があります。父のお陰でいろんな方に顔を覚えて頂き、しばらくしてOS会にも入会させて頂きました。当時代表幹事の西岡鈿螺(株)の西岡代表にお誘い頂いてから11年間所属させて頂きました。OS会での出会いは現在の人脈の基礎を創ってくれたと思います。OS会では色々な悩みごとの相談、行事運営でのチームワークやリーダーシップ、気付けば日頃の新たな商売にも繋がっていたケースも多々ありました。OS会メンバーの皆様と行っ

た海外含め各地への研修旅行では、本当に様々な経験をさせて頂き、自分自身が磨かれ、人間の厚みが増したように思います。

その他にも関西ねじ協同組合K-2、関東の鈿螺組合との交流会でも沢山の出会いをもたらしてくれました。最近では組合活動にも参加させて頂き、先輩方の皆様にもご指導を頂いております。

これまで築かせて頂いた大切な人脈こそが私の宝物です。そのお陰で、業界内でも商売をさせて頂いていますし、自分自身の成長にも繋がっています。また、プライベートでも楽しくお付き合いをさせて頂いています。

今後もこのかけがえのない人脈という「宝物」に感謝を忘れず、仕事に邁進してまいります。



表紙のことば

虹色の架け橋

(株)丸エム製作所 岩崎暁生

打ち上げ花火は江戸時代に隅田川で行われた水神祭がその由来とされています。当時は飢饉・疫病の流行により多くの死者がいました。

その死者たちの慰靈や悪疫退散のために水神祭が催され打ち上げ花火が上げられたのが最初です。4年前から自粛していた花火大会などのイベントは活気を取り戻し、海外からの来訪者も増え以前のような人流に戻りつつあります。賑わいが戻った、そんな虹色に彩られた花火大会の一幕を写してみました。

今後の主な年間スケジュール

2023.9

日 時				行 事 (予 定)	場 所
9	6	水	9:00	三役会	鐵鋼会館
	6	水		理事会／役員懇親会	鐵鋼会館／セントレジスホテル大阪
	7~8	日		第28回 FEセミナー(図面の見方・描き方)	テクノセンター東大阪
	17	日		第72回野球大会③(準決勝・決勝)	太陽が丘球場(宇治市)
	20			広報誌(104号)発行	
10	1	日	9:00	第72回野球大会(予備日)	みどりが丘球場(宇治市)
	18	水		工場見学	
	29	日		第9回合同ハイキング	再度山荘
11	5	日	15:00	第13回 テニス大会	舞洲シーサイドテニスガーデン
	8	水		三役会	鐵鋼会館
	8	水	15:30	理事会	鐵鋼会館
	14	火		講演会	鐵鋼会館
	15	水	14:00	第5回 FE検定	鐵鋼会館
	17	金	9:00	第10回 FEセミナー(Jr.コース)	鐵鋼会館
	27~28		9:15	第6回 FEセミナー(加工体験)	ポリテクセンター関西
12	1予定	金		忘年会	未定
2024 1	12 予定	金	10:30	新年互礼会(関西ねじ協同組合様合同)	シティプラザ大阪
2	未定			第48回ボウリング大会	未定
	20			広報誌(105号)発行	
3	6	水	15:00	三役会	鐵鋼会館
	6	水	15:30	理事会	鐵鋼会館
4	23	火	14:00	三役会	鐵鋼会館
	23	火	15:30	理事会	鐵鋼会館
5	27	月	15:00	通常総会	シティプラザ大阪

*上記は予定ですので、ご確認をお願い致します。

編 集 後 記

今年は異常に暑い日が続きました。欧米では山火事が度々発生し、南半球では冬なのに35度を超える気温を記録した地域もあったようです。私たちの大坂でも、40度に迫る暑さが頻発し皆様も体調管理にはご苦労されたのではないでしょうか。

そのような暑い中、大鉄協の野球大会も開催され熱い戦いが繰り広げられました。参加された各社様お疲れ様でした。

また本誌へ寄稿いただきました皆様にも感謝申し上げます。

(河野 裕)

発行所
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10
(スミコー南船場ビル)

大阪鉄螺卸商協同組合

電話 (06) 6271-4550

印刷所
〒557-0062 大阪市西成区津守1-12-23

株式会社 ベン・アート

電話 (06) 6567-3700

大阪鉄螺卸商協同組合へご加入の皆さん、 団体保険制度はご活用されていますか？

※皆さまの事業を取り巻くリスクは年々変化していきます。
保険制度相談窓口では、団体制度に限らず、リスクコンサルに基づく、様々な保険提案を受けることが可能です。
是非ご活用ください。



事業リスクの例

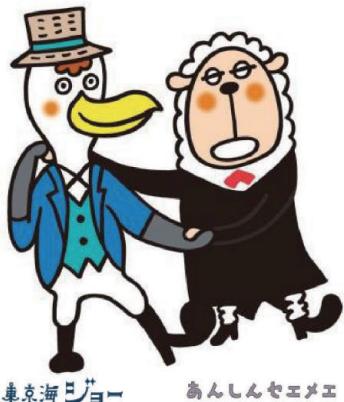
東京海上日動

近年続! ◆ サイバー攻撃による**情報セキュリティ被害**

- ◆ 感染症や自然災害・火災などによる**事業中断**
- ◆ 納入したネジの欠陥による**他者への賠償責任**
- ◆ 従業員の**メンタルヘルス・ハラスメント問題**
- ◆ 経営者の病気・死亡による**業績低下・事業承継**

現在のリスク対策にご不安のある方、最新情報にご興味がおありの方、下記お問い合わせ先へご連絡ください！

お問い合わせ先



大阪鉄螺卸商協同組合

〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10 スミコー南船場ビル
TEL : 06-6271-4550 FAX : 06-6271-0514

提携代理店

株式会社東京海上日動パートナーズかんさい
大阪南支店 大阪南支社 営業担当：井上

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-6-26 大阪グリーンビル4F
TEL : 06-4963-2813 FAX : 06-4963-2814